

(初級編)

ふくしまけんりつはくぶつかん けんがく
福島県立博物館 見学のしおり

福島県の秘宝を探せ！ — 初級編 —



問題は12個あるよ！

令和元年6月21日修正

けんがく やくそく 【見学の約束】

- ◆展示室は教室と同じです。勉強する場所ですから騒いだり、走ったりしません。
- ◆資料を長く保存するために、展示品にさわることができません。
- ◆展示室では資料を汚さないようにするため飲食はできません。
- ◆展示室で写真撮影をする時にはフラッシュをオフにします。
- ◆筆記用具は鉛筆を使います。マジック・サインペン・ボールペンは使えません。

福島県は、関東地方から東北地方への入口、また東北地方から関東地方への出口として、道路や船を使った交通の中心地のひとつでした。このような福島県の特徴は縄文時代から見ることができ、福島県はいつの時代も東北と関東地方の両方の橋渡しをする地域として、さまざまな文化や情報が行き来する重要な場所であったことがわかります。

県立博物館には、福島県内の貴重な資料がたくさん展示されています。その中でも福島県のようによく分かる12点を展示室で探してみよう。

(来館日) 令和 年 月 日 ()

(学校名)

(氏名)

◆A (原始) の部屋



福島県の秘宝 1

【A-7信仰と墓地】コーナーには、縄文時代のお墓が実際しんこう ぼちの大きさと同じ大きしやうもんじだいさで作はかられています。

たくさんはかのガイコツじっさい おお おな おおがありますが、その中つくに人間なか にんげん以外いがいのある動物どうぶつの骨ほねが混まじっています。

この動物どうぶつは、縄文しやうもんじん人じんにとって、シカたやイノシシものなどの食べ物どうぶつになる動物とを獲かる「狩かいり」の大事だいじなパ

ートはかナーかんがだったので、お墓はかを作ほうむってもらえなたと考なえられてはかいます。さて、お墓ほうむに葬はかられた動物ほうむは何なでしなょうか。

お墓はかに葬ほうむられた動物どうぶつの名前なまえ ()



福島県の秘宝 2

展示室てんじしつの中央ちゆうおうには、日本にほんでこめこめが作つくられ始はじめた弥生やよい時代じだいの稲刈いなかりの様子ようすが模型もけいで表あらわされています。米作こめつくりが始はじまると、それあたらまでになかあたった新あたらしい道具どうぐが登とうじやう場します。餅もち搗つききで使つかうこの道具どうぐも、この時ときに登とうじやう場しました。

この道具どうぐは、もともと米こめの殻から（もみ殻から）を外はずして白しろい米こめにする道具どうぐでしたが、餅搗もちつききにも使つかわれ

るようらになりました。この道具どうぐは、二つの道具どうぐがセせットにななって初はじめて役やくに立たちます。展示てんじしつしてあるこの道具どうぐは何なにというものものでししょうか。

【ヒント】月つきのウサギうさぎも使つかっています。片方かたほうは「猿さる力りき二谷にや戦せん」にも登とうじやう場します。

道具どうぐの名前なまえ () と ()

◆B (古代) の部屋

福島県の秘宝 3

展示室てんじしつの中央ちゆうおうには、埴輪はにわという土つちでできた人形にんぎやうがたくさん並ならんでいます。埴輪はにわは、昔むかしの王様おうさまの墓はかに並ならべられた墓はかの飾かざりですが、墓はかの中なかに悪わるい霊れいが入はいって王様おうさまの死体したいに悪わるさをしなやくめいようにバはリアの役目やくめを果はたしています。

(初級編)



いろいろな人の形をした埴輪がありますが、この中に楽器を持ったミュージシャンがいます。この楽器を使って音楽を演奏し、王様の魂をやすらかに神様のもとへ運ぶ役目を果たしたのかもしれない。さて、この楽器はなんでしょう。

なまえ
楽器の名前 ()



6月からしばらくの間、お出かけしています

ふくしまけん ひほう
福島県の秘宝4

展示ケースの中にパンチパーマの坐っている人がいます。これは薬師如来という仏様で、今から約1000年前のもので、左手に薬壺という薬の入った壺を持っており、病を治すのが得意な仏様です。

この仏様は、隣りに住んでいる僧(お坊さん)が作らせたと伝えられています。この僧は慧日寺や勝常寺などの寺を作り、会津地方の仏教を盛んに

した全国的にも有名な人物です。この僧は、何という人物でしょうか。

そう なまえ
僧の名前 ()

ちゅうせい
◆C(中世)のへや



ふくしまけん ひほう
福島県の秘宝5

展示室の最初には、立派な鎧が展示されています。昔の武士(さむらい)が着ていたものですが、このような鎧を全員が着ていたわけではありません。鎧を着た人は、ある乗り物に乗れるぐらい高い地位の人でした。当時のこの乗り物は、現在の高級外車と同じように、すごいスピードで走る高価な乗り物でした。【C-1阿津賀志山の合戦】コ

ーナーにある模型を見て、鎧を着た人が乗っていた乗り物を探してください。

の なまえ
乗り物の名前 ()



福島県の秘宝6

展示室の中にお墓のような場所があります。石に何かを刻んだものがいくつも立っていますが、これは「板碑」というものです。亡くなった人の骨を埋めるお墓は別な所に作られていて、板碑が立つ場所は亡くなった人が極楽に行けるようにお祈りをする場所です。ですから、この板碑の下を掘っても骨は出てきません。

このような板碑を盛んに立てていたのは、主にどのような人たちだったと思いますか。下の三つの中から一つ選んでください。【ヒント】人を殺したら極楽にいけるかな？

- ① 農民 (お百姓さん)
- ② 武士 (お侍さん)
- ③ 墓守り (お墓の世話をする人)

◆D (近世) の部屋



福島県の秘宝7

部屋の入口の所に札が下がった大きな屋根の建物があります。これは「制札場」というもので、江戸時代にいろいろなお知らせを地域の人々に伝えるために作られた場所です。伝えたい内容を書いた札が下げられており、なるべくみんなの目にふれやすい場所に建てられていました。

【D-5町のにぎわい】コーナーには、当時の会津若松市の町の様子を表した模型がありますが、この中にも制札場があります。この制札場は、今では考えられない場所に建っています。どんな所でしょうか。びっくりしますよ。

【ヒント】ここなら確かにみんなの目にふれるよね。気づかない人はいないね。

制札場のある場所 (



福島県の秘宝8

【D-3庶民の信仰】コーナーには、こわい顔をした怪物のお面のようなものが展示されています。これは獅子頭といって、神様へ願いを込めた踊りをする時に使う道具です。獅子という中国の想像上の動物をもとに作られています。会津地方では、この獅子頭を使って春の彼岸の時に、

(初級編)

今年^{ことし}の豊作^{ほうさく}や健康^{けんこう}、幸^{しあわ}せを願^{ねが}って神社^{じんじや}などで踊^{おど}られます。獅子^{しし}が三匹^{さんびき}で踊^{おど}るので三匹獅子^{さんびきしし}と呼ば^よばれています。

三匹^{さんびき}の獅子^{しし}を見ると、4本のキバがあるオスと2本のキバしかないメスがいることがわかります。さて三匹^{さんびき}のうちオスは何匹^{なんびき}、メスは何匹^{なんびき}いるでしょうか。展示^{てんじ}されている獅子頭^{ししがしら}をよく見^みて調^{しら}べてみましょう。

オス () 匹 メス () 匹

◆E (近現代^{きんげんだい}) の部屋^{へや}



福島県^{ふくしまけん}の秘宝^{ひほう}9

展示室^{てんじしつ}の入口^{いりぐち}には、両側^{りょうがわ}に車^{くるま}のついた煙突^{えんとつ}のようなものがあります。これはアームストロング砲^{ほう}という今^{いま}から約^{やく}150年前^{ねんまえ}の大砲^{たいほう}です。このころの日本^{にほん}は国^{くに}の中^{なか}が二つ^{ふた}に分か^われて戦争^{せんそう}を行^{おこな}っていました(戊辰戦争^{ぼしんせんそう})。県内^{けんない}の人々^{ひとびと}も福島県^{ふくしまけん}の地域^{ちいき}に攻^せめてくる鹿児島県^{かごしまけん}や山口県^{やまぐちけん}などの人たち^{ひと}とあちこち^{あちこち}で戦^{たたか}いました。その戦争^{せんそう}の時^{とき}に鹿児島^{かごしま}や

山口^{やまぐち}の人たち^{ひと}が使^{つか}っていた大砲^{たいほう}と同じもの^{おな}が展示^{てんじ}してあります。

この大砲^{たいほう}を使^{つか}って博物館^{はくぶつかん}の建^たっている若松城^{わかまつじょう}も攻^{こうげき}撃^{げき}されましたが、この攻^{こうげき}撃^{げき}で若松城^{わかまつじょう}はどうな^なったでしょう。大砲^{たいほう}の近^{ちか}くに、戦争^{せんそう}が終^おわった後^{あと}に若松城^{わかまつじょう}のようす^{ようす}を撮^とった写^{しゃしん}真^{しん}があります。写^{しゃしん}真^{しん}を見^みて、下^{した}の三^{さん}つの中^{なか}から一^{いつ}つ選^{せん}んで○を付^つけてください。

- ① 建^たてもの^{もの}は壊^{こわ}れていない。
- ② 建^たてもの^{もの}はボロボロにな^なった。
- ③ 建^たてもの^{もの}は跡^{あと}形^{かた}もな^なく壊^{こわ}された。



福島県^{ふくしまけん}の秘宝^{ひほう}10

展示室^{てんじしつ}の中^{ちゆう}央^{おう}北^{きた}側^{がわ}には、ある乗^のり物^{もの}が本^{ほん}物^{もの}と同^{おな}じ大^おきさ^{きさ}で作^{つく}られています。この乗^のり物^{もの}は今^{いま}から約^{やく}70年前^{ねんまえ}に福島県^{ふくしまけん}内^{ない}を走^{はし}っていたもの^{もの}ですが、今^{いま}では考^{かんが}えられ^{られ}ないもの^{もの}を燃^{ねん}料^{りょう}に^にして走^{はし}っていました。燃^{ねん}料^{りょう}に^に使^{つか}っていたのは何^{なん}でしょう。

燃^{ねん}料^{りょう}に^に使^{つか}っていたもの ()



ふくしまけん ひほう
福島の秘宝11

【E-8戦後の社会】コーナーには、今から約70年前に福島県内で使われていた教科書やランドセルが展示されています。現在のものと大きさを比べてみましょう。こうなったのには、ちゃんとした理由があります。どうして、「現在よりも〇〇〇」なのか家の人に尋ねてみましょう。

また、教科書には墨が塗られていて読めない所がたくさんあります。これも教科書を持っていた人がいたずらをしたわけではなく、ちゃんとした理由があります。これも家の人に尋ねてみましょう。博物館からの宿題です。

やく ねんまえ きょうかしよ げんざい
約70年前の教科書は、現在のものより（ ）い。

◆F (自然と人間) のへや



ふくしまけん ひほう
福島の秘宝12

展示室の入口近くに、浜通り地方の南相馬市小高区にある井田川浦で使われていた大きな舟が展示されています。浜通り地方の北側は海岸線が入り組んでいて、海が陸の内側まで入り込んだ「浦」という地形がいくつもありました。このような浦で活悪したのが、このような底の浅い舟でした。この舟は、どうやって作られたのでしょうか。舟をよ

く観察して下の三つの中から一つ選んで〇をつけてください。

- ①鉄の骨に木の板を貼り合わせて作っている。
- ②木の板を何枚も貼り合わせて作っている。
- ③半分に割った木をくり抜いて作っている。

どうでしたか？ 12点全部探すことができれば

あなたは「Fukushima博士」！

◇◇◇◇◇◇ はくぶつかん いっく せんりゅう ちょうせん ◇◇◇◇◇◇
博物館で一句！～けんぱく川柳に挑戦～

せんりゅう ご しち ご ひょうげん いちばんみじか さくぶん きょう けんがく わ
川柳は五・七・五で表現する一番短い作文です。今日の見学で分かったこ
と、かんじたこと、かんが 考えたこと、じぶん きょう おも で せんりゅう あらわ
う。

(五)

(七)

(五)

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇ はくぶつかん き い いっぴん ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇
博物館のお気に入りの一品！

てんじしつ なか おも ふしぎ おも なん
展示室の中でおもしろいと思ったもの、不思議だなどと思ったもの、何でもいいの
で、けんがく なか いちばんいんしょう のこ
で、見学した中で一番印象に残ったものをスケッチしてみましょう。

◆この資料は？

なまえ
(名前)

ころ
(いつ頃のもの)

しちょうそん
(どの市町村のもの)

◆資料のスケッチ ※よく観察して描いてみよう。いろいろなことに気付くよ！

◆資料について気付いたこと

-
-
-